

平成23年7月28日

関係各位

国土交通省 関東地方整備局  
河川部 河川情報管理官  
河川部 水理水文分析官



物理探査手法の堤防管理への適用に関する手法の提案について

暑さ厳しき折から、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より河川整備事業に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、国土交通省関東地方整備局では、今後の河川管理の充実を目的に、物理探査手法を用いた堤体管理について検討を行っているところですが、物理探査手法については、その精度、機器操作、解析方法、価格等様々であり、目的に即した手法を選定する必要があります。

つきましては、別紙のとおり、物理探査手法について提案して頂きたいようお願い申し上げます。

なお、応募頂いた手法のうち、堤防管理の目的に照らし合わせ、最適と思われるものについて、積極的に導入を図ってまいりたいと考えております。

物理探査手法の河川堤防への適用に関する手法の提案について

1. 目的

国土交通省では、洪水による破堤氾濫被害を防止するため、河川巡視等により堤防の管理を行っているところです。

3月に発生した東日本大震災においては、関東地方整備局管内でも多くの被害を受け復旧作業を行っているところですが、通常の巡視等では堤防のゆるみ等については把握が難しい状況です。

全ての堤防について開削調査やボーリング調査を実施することは、必要な期間・費用を考えた場合現実的ではないことから、堤防内部状況の把握による東日本大震災による新たなゆるみの特定及び現堤防のゆるみの特定を行うため、物理探査手法を導入したいと考えています。

物理探査手法には、多くの手法が存在し、堤防への適性も異なることから、より良い方法を導入するため、手法について募集するものです。

2. 応募方法

パンフレット等概要が分かる資料及び担当者連絡先を下記に送付願います。

- ・応募先：関東地方整備局 河川部 河川管理課 齊藤（内線 3776）  
電話 048（600）3151（代表）  
FAX 048（600）1381（河川部 河川管理課）
- ・応募締切：平成23年 8月4日 17時まで

なお、河川堤防への適用性を判断するため、次の通りヒアリングを行います。

- ・日時：8月11日（木）10時から18時（予定）  
※上記時間内で各社1時間程度を予定しています。詳細な時間は後日ご連絡します。
- ・場所：関東地方整備局内（埼玉県さいたま市中央区新都心2-1）  
※詳細な場所については後日ご連絡いたします。
- ・説明資料：下記の項目を説明して頂きますので説明資料を7部お持ち下さい。

① 手法の概要

- ・現地測定速度（〇〇km/時、〇〇km/日、100km観測できる日数等）
- ・解析時間（〇〇km/月、100km解析できる日数等）

② 河川堤防での調査実績

③ 費用

(1) 調査を委託する場合の費用

(2) 機器を購入する場合の費用

・測定機器、解析機器等の導入費用

・維持管理費用

・観測及び解析を職員が行う場合の研修等の期間

なお、上記のほか、後日追加資料を求める場合があります。

3. 審査方法

精度及び費用等を総合的に勘案し、評価する。

4. 結果の通知

結果は通知しない。

5. 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 河川部 河川管理課 水防企画係 齊藤

048(600)3151(代表) 内線(3776)